

年次報告書 2012-2013

平成24年4月～平成25年3月



平成24年度水道ポスターコンクール 特選

安全・安心と真心を
いつでもお客様のものとへ

川口市水道局

ごあいさつ

川口市水道局は、24 時間 365 日常に安定した水道水の供給を担うべく、計画的な水道施設の更新と漏水対策などの推進、同時にその財源の確保や事務事業の効率化に努め経営基盤の強化を図ることを目的とし、平成 20 年度に 10 年間にわたる中長期経営計画「アクアプラン川口 21～川口市地域水道ビジョン～」を策定し、理想の姿をめざして取り組んできました。

その後、東日本大震災の教訓や鳩ヶ谷市との合併を受けて、水道事業として多くの課題も新たに発生しました。これら諸問題を解決するため、平成 25 年 3 月に、平成 25 年度から平成 34 年度を計画期間とした新たな中長期経営計画「アクアプラン川口 21～第 2 次川口市地域水道ビジョン～」を策定しました。

今後も私たち水道局は、危機管理の徹底や、経営の健全化を図り「安全・安心と真心を いつでもお客様のもとへ」の企業理念のもと、確実に水道水をお届けするとともに、今後も水道水を利用しているお客様の多様化した要望に沿うべく、サービスの向上に努めてまいります。

この年次報告書は、アクアプラン川口 21 に基づき、お客様との情報共有をより推進するため平成 20 年度から発刊しております。事業概況や財務状況などの経営情報を総合的にご覧いただけるよう作成しましたのでご覧ください。

私たちの使命

昭和 27 年の事業開始以来、お客様が常に蛇口をひねれば安全な水道水が安定してお使いいただける環境を整えてきました。これは変わることはない私たちの第一の使命です。

また、平時ばかりではなく、災害時においてもライフラインを担う私たち水道局は、地域のみならず医療機関、保健福祉施設などに安全な水を十分な水量で確実にお届けすること、さらには、新たな時代を担う子どもたちに、健全な水循環による自然環境の保全や、安全で安心な水を渴望する諸外国の実情をお伝えすることなど、水に関わる幅広い役割を果たすことも重要な使命です。

このような使命を確実に達成するために、アクアプラン川口 21 に基づき、平成 24 年度も安全を中軸に据えて、お客様に安心して水道水を使用していただくための様々な事業を展開しました。

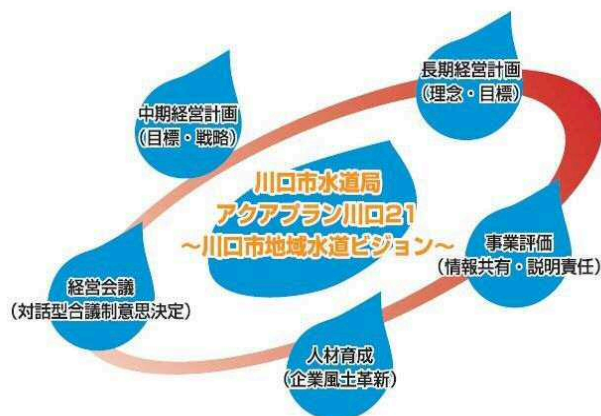
■ 価値前提の経営へ

アクアプラン川口 21 は、私たちの使命をより確実に達成するための中長期の戦略的経営計画です。長期経営計画が 10 年間の理念・目的を示します。そして中期経営計画が、具体的な目標と戦略を示します。

これにより、水道事業の進む方向を 1 点に統合し、理念を実現するために個別の事業を戦略的に展開します。また、この展

開を支援する仕組みとして、対話による情報共有と意思決定が水道事業管理者を中心とする経営会議によって行われます。併せて、お客様の信頼を自分たちの誇りとする人材を育成することにより、自ら学び挑戦し続ける企業風土を生み出します。そして、事業の評価を行い公表することで、お客様との情報共有、また、お客様の声を施策に反映するなど、事業の実行責任、結果・成果に対する説明責任を果たします。

このようにして水道事業は、アクアプラン川口 21 により、組織内部においても、市民の皆様との関係においても、行動の意味が明確で達成する成果が明らかな価値前提の経営を目標として取り組んでいます。



■ 事業経営の透明性

アクアプラン川口 21 では事業ごとに、何のために、いつまでに、どのようにして、いくらをかけて、どのような成果を達成するのかを定めています。また、事業の一つひとつは、年度計画に詳細化しています。

この一年間の計画は、前年度に学んだ改善点や革新点を溶け込ませ、お客様へのお約束として 4 月に公表しています。(事前評価)

また、年度の中間で、お約束の達成がどのように進んでいるのか、阻害要因があればこれを取り除く方法はないかなどを評価し、10 月にお客様へ公表しています。(中間評価)

そして、年度末にお約束がどの水準まで達成できたのか、達成できていないとすれば何が真因なのか、どう取り除いていくのかなどを評価し、次年度事業計画に改善点や革新点を溶け込ませ、4 月にお客様に公表しています。(終了時・事後評価)

このように年度で生み出す成果をお約束し、その達成への経過をご報告し、成果水準の分析・検証結果をご報告し、次に何を活かしていくのかをお約束することで、透明な事業経営を進めています。

■平成24年度の実績

収益的収支（水道水を作り、ご家庭や事業所に送り届けるための財源と経費）の状況は、総収入約109億1千万円と前年度に比べ約2千万円減少となりました。これは、水道利用加入金や手数料等の減少が起因です。

総支出においても約99億4千万円と前年度より約2億4千万円の減少となりました。これは、企業債利息などが減ったことによるものです。

結果として、消費税等を含まない利益は約9億7千万円となり、前年度に比べ約2億1千万円の増となりました。この利益は、企業債の返済に充てるための減債積立金など、健全な経営を図るために充てられることとなります。

また、資本的収支（浄配水場・配水管網の耐震化などの設備投資経費や、借入金の返済経費とその財源）の状況は、総支出約49億4千万円に対し、企業債などによる総収入は約17億9千万円と、約31億5千万円の不足額が生じました。この不足額は減債積立金、損益勘定留保資金などの内部留保資金等で補てんし、市街地の老朽铸铁管の更新を中心に事業を進めました。

川口市の配水管網は、市内全域に約1,414km張り巡らされています。この配水管網のうち、基幹となる導水管（井水取水用）、送水管（県水受水用）、配水本管（口径300mm以上の直接給水装置を分岐しない配水管）の主要管路約131.6kmは、厚生労働省が示す耐震基準を満たし、耐震化率は61.80%となり、昨年度より2.26ポイント上昇しました。これは、他の事業体と比べても高い水準となっています。



東日本大震災の教訓からも管路の耐震化は重要です。平成24年度は昨年度に引き続き、企業債の繰上償還に伴う効果額を管路の耐震化事業に活用してまいりました。災害時においても、短期間の断水で水道水をお届けするために、今後も基幹管路だけでなく、管路全体及び浄配水場施設等の耐震化を進めていくことが不可欠だと考えています。このような耐震化は、直接水道水の売り上げの向上には結び付きませんが、高い安全性を保ち続けることは、これからも重要な経営課題となっています。

■平成25年度の見通し

一人当たりの水道使用量は、年々減少しています。その一方で、高度成長期の人口急増に合わせて布設した配水管は、次第に耐用年数を迎えつつあります。また、宅地内の給水管からの地下漏水についても、調査修繕など対策しているものの依然として大きな課題となっています。



水道料金収入が減少する中、老朽管路の更新など設備投資を続けなければならないことは、経営上の大きな負担となります。職員の削減や、業務の委託化などコスト縮減に努め、平成12年4月からの水道料金水準を維持していますが、水道事業を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。

平成25年度から、新たな中長期経営計画「アクアプラン川口21～第2次川口市地域水道ビジョン」の運用が始まります。この計画には、鳩ヶ谷地区へのバックアップ機能の強化や鳩ヶ谷浄水場の更新計画などの合併における課題の解決、また、東日本大震災の経験として放射性物質対策や電力・通信危機対策など危機管理体制の強化を図る事業を取り込みました。さらに、アセットマネジメントの導入により財務体質の強化に努めています。

そして、どのような状況においても、安全・安心な水道水の確保のための水源の保全や水質の維持、安定した水道水を供給するために必要な水量を安定した水圧でお届けできるよう、水道施設の維持管理の充実を図ります。引き続き漏水量の縮減を徹底するとともに、より一層の危機管理をもって災害対策を進めていきます。また、事業の評価を公表する透明な経営を重ねていくことにより、ムリやムダを徹底して排除し、私たちの使命を確実に達成していきます。

■「安全・安心と真心を いつでもお客様のもとへ」

私たちは、アクアプラン川口21に次の企業ビジョンを掲げています。

安全・安心と真心を いつでもお客様のもとへ

私たちは、未来に続く命を育てるため、
安全・安心と真心のこもったサービスを、
水道水という商品に乗せて、
たゆむことなく、みなさまのお手元にお届けします。

このビジョンを達成するため、ライフラインを担う者の責任を常に果たせるよう最善を尽くしていきます。これからも、安全・安心と真心を、いつでもお客様のもとへお届けしてまいります。

川口市水道事業管理者 高田 勝

目 次

I 経営理念(企業ビジョン)	1
II 経営ハイライト	
1 給水状況	2
2 建設改良事業	4
3 収益的収入及び支出	6
4 資本的収入及び支出	8
5 企業債の状況	10
6 キャッシュフロー計算書	11
III 川口市水道事業の将来像	
1 現在の取り組み－アクアプラン川口21～第2次川口市地域水道ビジョン～	14
2 これまでの取り組み	16
3 これからの取り組み	19
IV 平成24年度実績	
1 事業概要	
(1) 事業概要	23
(2) 配水量分析	25
2 財務	
(1) 収益的収入及び支出	27
(2) 資本的収入及び支出	29
(3) 企業債の状況	31
(4) 経営分析	32
3 業務	
(1) 栓数の年度推移	35
(2) 有収水量の年度推移	36
(3) 水道料金の年度推移	38
(4) 調定件数の年度推移	39
(5) 水道料金調定及び収納状況の年度推移(現年度分)	40
(6) 月別有収水量の年度推移	41
(7) 月別調定件数の年度推移	42
(8) 一栓使用水量	43
(9) 水道料金体系の推移	44
(10) 県水購入単価の推移	48
4 浄配水施設	
(1) 月別水量(配水量・県水受水量・取水井揚水量)	49
(2) 最大配水量及び最小配水量並びに平均配水量	51
(3) 浄配水場導送配水管布設状況	52
(4) 井戸仕様・整備状況	56
(5) 地下水源の取水量能力表	58
(6) 地下水源の運転水位低下実績表	59
(7) 水質検査結果(原水池・浄配水場・給水栓)	60
(8) 月別使用電力量及び薬品使用量	67
(9) 加圧ポンプ設置状況	68

5	管路施設	
	(1) 管路全体の布設状況と耐震化率	69
	(2) 管種別布設状況	70
	(3) 基幹管路の布設状況と耐震化率	72
	(4) 年度別布設状況	74
	(5) 配水管地区別布設状況	76
6	給水	
	(1) 月別給水関係諸工事受付件数	77
	(2) 月別給水装置工事受付しゅん工件数	77
	(3) 指定給水装置工事事業者等の指定の推移	77
	(4) 給配水管等修理状況	78
	(5) 量水器交換状況(検定満期)	80
	(6) 私道内給水管布設替整備補助金執行状況	80
	(7) 地下漏水調査・調査距離及び漏水種別修理件数等の状況	81
V	平成25年度組織	
	1 機構の概要	
	(1) 組織図及び事務分掌	83
	(2) 職員配置表	84
	(3) 年齢別職員構成	85
	(4) 水道勤続年数別職員構成(通算)	85
	2 歴代川口市上下水道事業運営審議会委員	86
	3 歴代川口市水道事業管理者	88
VI	参考資料	
	水道用語解説	89

I 経営理念(企業ビジョン)

安全・安心と真心を いつでもお客様のもとへ

私たちは、未来に緑命を育ていくため、
安全・安心と真心のこもったサービスを、
水道水という商品に乗せて、
たゆむことなく、みなさまのお手元にお届けします。



企業経営において最も重要なことは、自らがどの事業領域でどのような価値を提供するかを明確にすることです。水道局は、水道水という商品を取り扱う企業ですが、単に蛇口から水が出るようにするだけの事業体ではありません。水道水を媒体として、みなさまの生活を安全に支え、安心して日常を過ごしていただくためのサービスを届ける企業です。そして、それは災害時であっても変わることはない使命です。

私たち水道局の事業領域を「水道水を通じて安全・安心と真心をお届けするサービス企業」と位置付けました。これは、平時には安全で安心な水道水を丁寧に製造し、必要な時に十分な量の水をお届けするとともに、災害時には一人として水に飢え苦しむ市民を生まないことを意味しています。また、そのためのサービスを届け続ける努力を、たゆむことなく続けることも意味しています。

私たち水道局は、この経営理念を常に掲げ、市民生活の向上に貢献するサービス企業を実現します。

企業ビジョン(理念)を実現するための手段として、「アクアプラン川口 21～第2次川口市地域水道ビジョン～」において 7 つの企業ミッション(政策)を定めました。これは、理想の姿を実現するための指針を示したものです。

企業ビジョン(理念)は、企業経営目的の中心に位置し、私たちが進むべき方向を明らかにしています。

そして、この理念をあらゆる事業活動の基盤とし、政策・施策・事業と連なる企業経営の手段が目的化してしまうことを防ぐ規範とします。

合目的性のある具体的な事業を展開し、皆様の生活を支えるサービス企業として、理想の姿の実現に向けてまい進しています。

